

佳作

「ママへ伝えたいこと」

広島県

広島市立五月が丘小学校 三年

岡内 健太郎

ぼくは、いつも思っています。「ママ、いつもぼくのことを一番に考えてくれて、ありがとう。」って。ママは、やさしくてとてもきびしいです。でも、ぼくはそんなママが大好きで一番大切ですよ。

ぼくのママは、小さくて、いつもいっしょけんめいで、おもしろくて、温かくて、いいにおいのママです。いつもはやさしいけど、もちろんおこる事だってあります。ぼくをおこる時は、とてもきびしくて全力でおこります。そういう時のママはこわくて泣いてしまいます。ぼくがどんな時におこられるかというところ、やるべきことをしていなかったり、ものの言い方やたいどで人にいやな思いをさせたり、人をまたせたりした時です。人としてとても大切なことだと言って何ども教えてくれます。おこり終わると、かならず落ちつくまでだきしめていてくれます。

そんなママがよく口ぐせのように言うのは、「けんかりようせいばいばい」と「いんがおうほう」です。「けんかりようせいばい」は、ぼくが友だちとケンカして帰るといつも言います。

「いんがおうほう」は、ぼくが人からいやなことを言われたり、されたりした時に、「いんがおうほうじゃけん、やった人には他からかならずいやなことが返ってくるよ。だから、けんはやり返したら同じことをすることになるんよ。」と言って、ぼくを元気づけてくれます。また、よいことをした時には、「その人から直せつではなくても、きつと、他からかならずいい

とが返ってくるよ。」と言って、人のために何かをする大切さを教えてくれます。

勉強のことで、いつもいろいろ考えてくれていています。ぼくが「何で？」と聞くと、かならず、「自分で調べてみんさい。」と言って、いっしょに調べてくれます。自分で調べたら楽しいです。自分で調べることを、考えることの大切さも教えてくれます。

ママは、ぼくを一人で育ててくれてるのでいそがしいです。でも、たくさんのことを、ちゃんと教えてくれて、いつもうれししいです。

そんなママだけど、実はおもしろいです。ぼくが「今何時？」と聞くと、「いほち」とか「U字工事」と言います。ぼくがママをわらわせようとしても、「オチのない話は、やめる」と言ったり、いっしょに歌ったりおどったり、いつもぼくを楽しませてくれて、いっしょにいってくれます。

でも、いつも元気なママが六月に急に入院したことがありました。十日間だったけど、とても不安になりました。ママは、そうわかくはないので、早く大人になってママのことを助けたいです。ママとしょうらいの話をするとよく「早くけんのおよめさんに会いたいなあ。」と言います。ぼくは、ママがおよめさんにしたい理想の人です。